

# 1)令和5年度 図書館利用状況報告(4~1月)について

## 【①貸出冊数】

月	H30	R3	R4	R5	R4比較
4月	31,097	31,036	29,205	29,111	
5月	31,181	16,677 *	27,846	26,442	
6月	32,495	13,895 *	28,602	27,569	
7月	35,255	31,181	32,035	29,153	
8月	35,123	11,756 *	30,615	30,111	
9月	34,005	12,958 *	28,384	27,488	
10月	31,136	31,949	29,624	28,778	
11月	30,123	28,013	27,911	26,453	
12月	27,881	26,536	24,597	25,074	↑
1月	30,910	23,747	20,993	23,323	↑
2月	30,481	30,534	29,203		
3月	29,861	30,144	27,109		
計	379,548	288,426	336,124	273,502	
上半期	199,156	117,503	176,687	169,874	
10~1月期	120,050	110,245	103,125	103,628	↑
平均(日)	1,313.3	998.0	1,171.2	1,144.4	

（参考）

## 【②貸出人数】

月	H30	R3	R4	R5	R4比較
4月	8,302	6,409	6,010	6,176	↑
5月	8,220	3,354 *	5,836	5,705	
6月	8,480	2,981 *	5,998	5,742	
7月	8,981	6,320	6,506	6,110	
8月	9,379	2,676 *	6,307	6,354	↑
9月	8,882	2,847 *	5,932	5,945	↑
10月	8,316	6,593	6,202	6,180	
11月	8,041	5,800	5,902	5,801	
12月	7,388	5,430	5,171	5,293	↑
1月	8,103	4,725	4,387	4,806	↑
2月	8,192	6,080	6,056		
3月	7,958	6,293	5,906		
計	100,242	59,508	70,213	58,112	
上半期	52,244	24,587	36,589	36,032	
10~1月期	31,848	22,548	21,662	22,080	↑
平均(日)	346.9	205.9	244.6	243.1	

（参考）

## 【③入館者数】

月	H30	R3	R4	R5	R4比較
4月	13,650	10,609	10,292	10,870	↑
5月	13,548	4,563 *	10,173	9,916	
6月	14,965	4,308 *	10,415	10,115	
7月	16,718	11,462	11,764	11,787	↑
8月	18,164	3,783 *	11,613	12,658	↑
9月	15,073	3,691 *	10,009	12,188	↑
10月	14,318	10,619	10,862	12,442	↑
11月	14,237	10,093	10,838	11,558	↑
12月	12,638	9,514	8,818	9,885	↑
1月	12,968	7,280	6,869	8,123	↑
2月	13,940	9,537	10,719		
3月	12,618	10,996	10,345		
計	172,837	96,455	122,717	109,542	
上半期	92,118	38,416	64,266	67,534	↑
10~1月期	54,161	37,506	37,387	42,008	↑
平均(日)	598.1	333.8	427.6	458.3	↑

（参考）

【④新規登録者数】

月	H30	R3	R4	R5	R4比較
4月	136	121	97	102	↑
5月	114	45 *	104	90	
6月	125	63 *	106	91	
7月	163	152	153	143	
8月	204	39 *	138	149	↑
9月	139	50 *	84	101	↑
10月	99	140	117	111	
11月	96	104	105	83	
12月	80	58	52	67	↑
1月	101	64	51	64	↑
2月	110	102	103		
3月	112	135	115		
計	1,479	1,073	1,225	1,001	
上半期	881	470	682	676	
10~1月期	376	366	325	325	
平均(日)	5.1	3.7	4.3	4.2	

（参考）

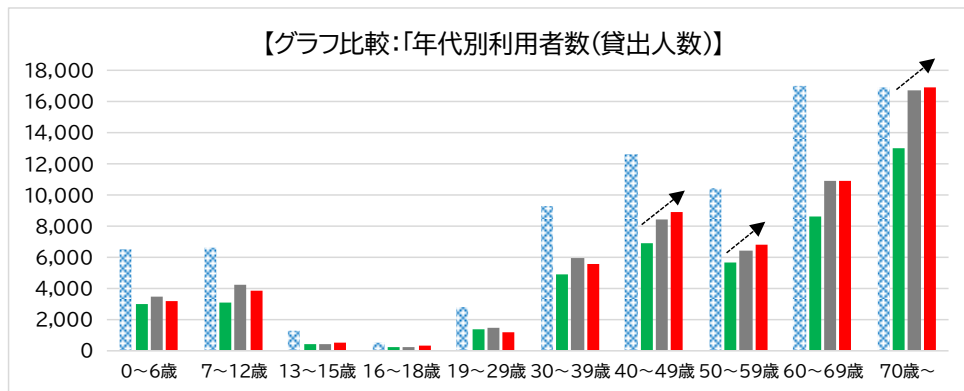
（参考）【②利用者総数(貸出人数)～年代別～(4～1月)】

(人)

	0～6歳	7～12歳	13～15歳	16～18歳	19～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	合計
H30	6,561	6,595	1,306	551	2,818	9,268	12,616	10,389	17,038	16,950	84,092
R3	3,017	3,093	400	221	1,341	4,887	6,899	5,681	8,626	12,970	47,135
R4	3,434	4,198	409	261	1,446	5,951	8,405	6,410	10,952	16,785	58,251
R5	3,190	3,834	484	279	1,151	5,553	8,890	6,851	10,937	16,943	58,112

(比較)

↑ ↑ ↑



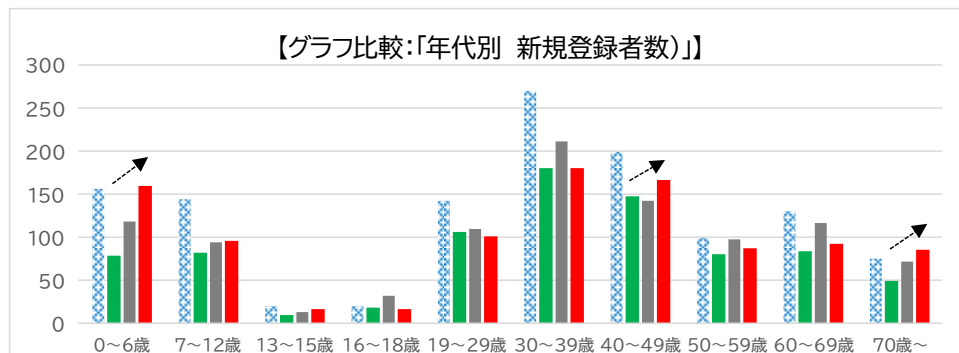
（参考）【④新規登録者数～年代別～(4～1月)】

(人)

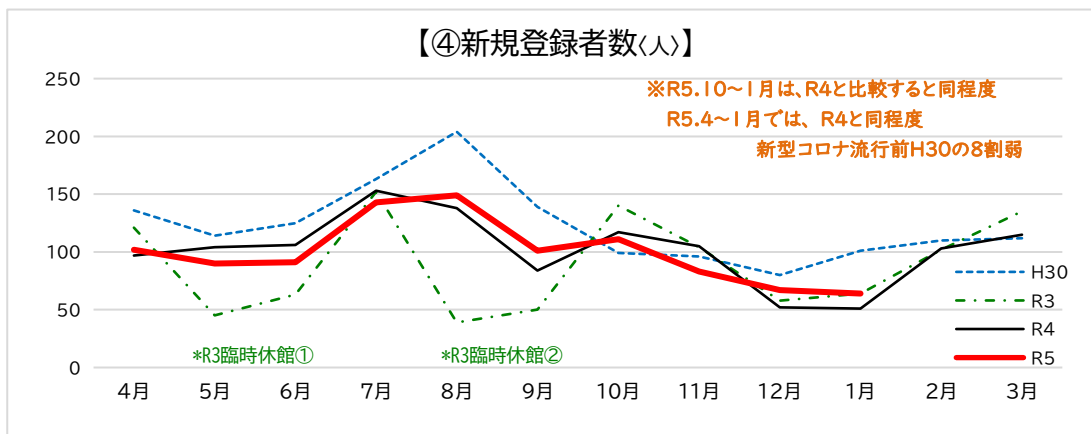
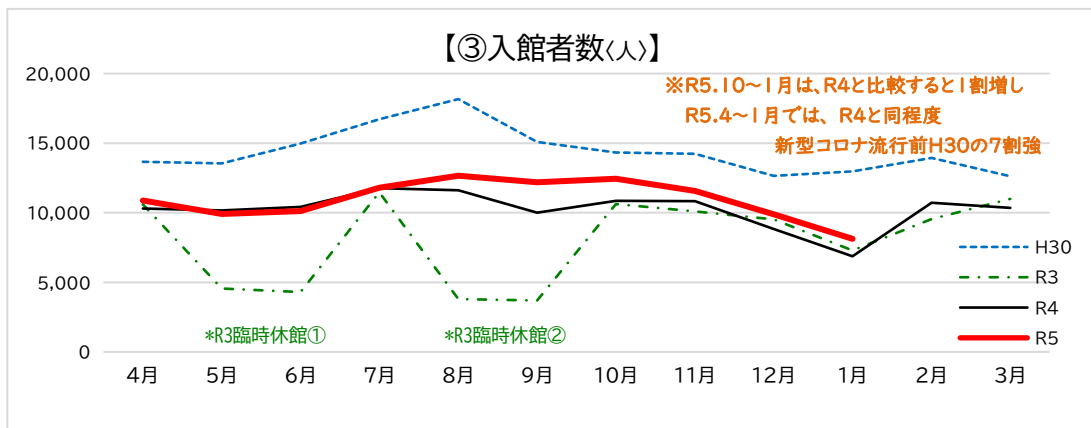
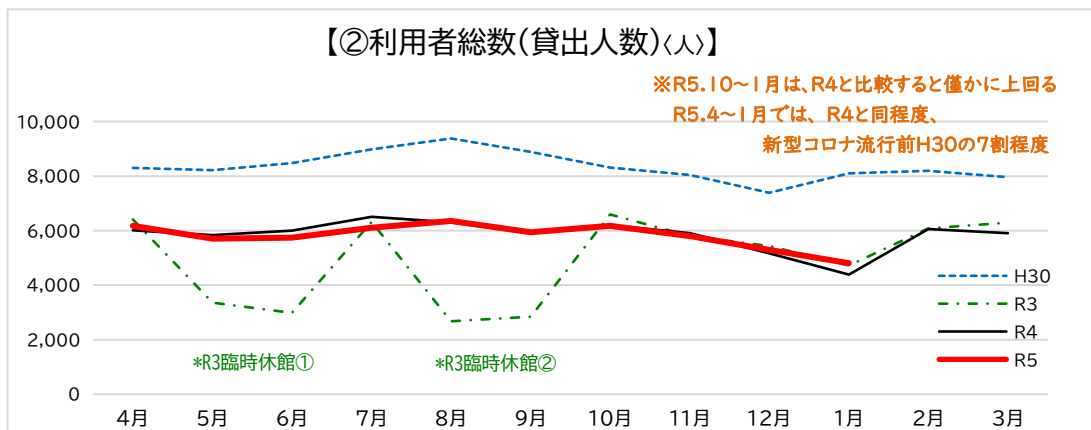
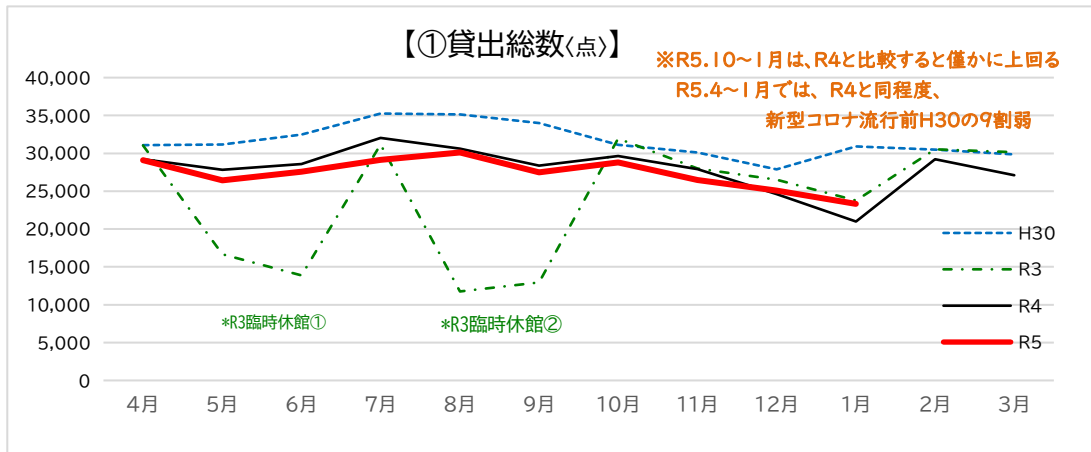
	0～6歳	7～12歳	13～15歳	16～18歳	19～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	合計
H30	156	145	20	21	142	270	199	99	130	75	1,257
R3	79	82	10	18	106	181	147	80	84	49	836
R4	118	94	14	32	110	212	142	97	116	72	1,007
R5	160	96	16	17	101	181	166	87	92	85	1,001

(比較)

↑ ↑ ↑



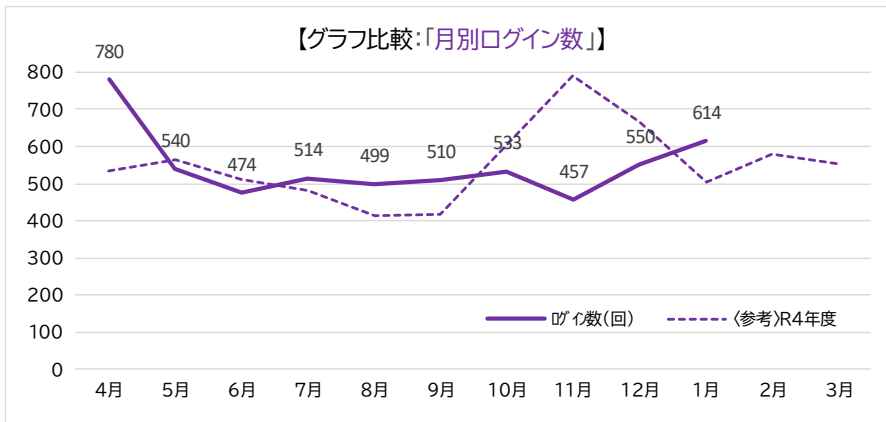
【グラフ比較(平成30、令和3、4、5年度 利用状況)】



≪電子図書館サービス利用状況(4~1月)≫

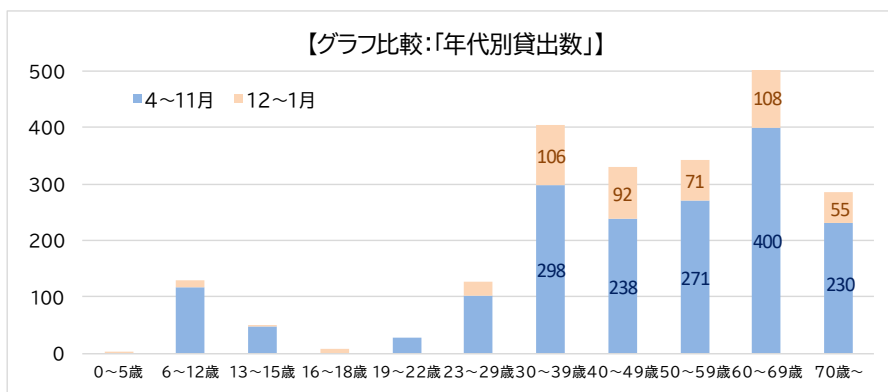
【①ログイン数、貸出数 ~月別~ (4~1月)】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ログイン数(回)	780	540	474	514	499	510	533	457	550	614			5,471
(参考)R4年度	534	565	512	481	412	416	604	789	665	503	580	553	6,614
貸出数(点)	353	218	217	174	197	224	199	147	203	277			2,209
(参考)R4年度	283	201	219	238	134	158	267	297	228	314	266	271	2,876



【②貸出数 ~年代別~ (4~1月) ※新刊書購入:12月~ (点)】

	0~5歳	6~12歳	13~15歳	16~18歳	19~22歳	23~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳~	計
4~11月	0	116	47	0	27	102	298	238	271	400	230	1,729
12~1月	1	12	3	7	0	25	106	92	71	108	55	480
計	1	128	50	7	27	127	404	330	342	508	285	2,209



## 2) 令和5年度 図書館事業実施報告(11~1月)について

### 【報告①】 図書館で学ぶがんシリーズ「がんになっても自分らしく生きる～在宅医療の実際～」

／福岡東医療センター(がん相談支援センター)、訪問看護ステーションこが: 11/18(土) <12人参加>

- 平成29年度から始めた「がん講座」も今回で4回目。がんが国民病となっている現代、何が信頼に足る情報なのかを選び取るのが難しい時代でもあるため、専門員の話を通じて直接聞ける機会として企画しました。
- 今回は「がんになった後のこと」を演題にしたせいか、申込数が少なく、また日程が他行事と重なり駐車場の確保すらできない状態であったため、今回はテーマや日程の調整が必要と考えています。



### 【報告②】 名画会(中村哲医師追悼企画)「医師 中村哲の仕事・働くということ」「カカ・ムラド ～中村哲の信念～」の2作品を上映: 12/7(木) <18人参加>

- 12月4日が命日であることから、砂漠を緑に変えた「哲さんの想いと業績」がつづられたドキュメンタリーの2作品を上映しました。
- 上映会にあわせて、歴史資料館が開催した企画展「中村哲さんと古賀(令和3年度)」を再展示するとともに、哲さんの母校である古賀西小学校の子ども達が作成した絵本「中村哲物語」を紹介しました。また、図書館の「郷土資料(中村哲さん関連資料コーナー)」のPRを行いました。



### 【報告③】 クリスマスおはなし会／古賀競成館高校図書委員会: 12/17(日) <23人参加>

- 「市内高校とのコラボ事業」として、今年で2回目のおはなし会を開催。
- 生徒自ら絵本や紙芝居を選び、手遊びやクイズを交えたプログラムを作成し、リハーサルを重ねました。初めは照れと緊張でいっぱいだった生徒達も次第に笑顔が増え、最後は顔をあげてしっかりとあいさつし手厚くお見送りをしていました。





【報告④】新春企画 2024年福みくじ ～5点借りて、図書館おみくじを引こう!(雑誌付録などの当たり付)～  
： 1/5(金)・6(土) 〈345人参加[くじ総数]〉

- 「より親しみやすくにぎわいのある図書館づくり」の一環として、初めて企画しました。  
図書館特製のおみくじには、運勢のほか、図書館らしく「司書が本から抜粋した心に響く名文やメッセージ」「ラッキーBOOK」を記載し、雑誌の付録や各課で余ってしまったノベルティグッズ等が当たる内容としました。
- 年明け開館の初日5日からスタート、翌日のお昼前には予定数の345人分を終了しました。  
5日の図書館利用は、「860人の来館(前年同日比1.16倍増)」「貸出数3,306点(同1.26倍増)」「新規登録者数5人(同5倍増)」と好評でした。



【報告⑤】スマホde電子図書館 ～電子図書館体験会～《試行実施》： 1/11(木)・12(金)

- 「電子図書館をもっと多くの方に知ってもらい、楽しんでもらいたい」と考え今後開催を予定している「体験会」のニーズやメニュー構成を検討するため、試行的に実施しました。
- 今回は、本の借り方・読み方・返し方、検索の仕方といった操作方法や、電子のメリットやコンテンツ紹介等の電子図書館を楽しむコツを、利用者のスマホを使って1対1で説明しました。





## 【報告⑥】蔵書点検他：1/23(火)～30(火) 《実質6日間の作業》

### (1)作業内容

- 「蔵書点検」とは、約23万点すべての蔵書の在庫点検、いわゆる棚卸作業のことで、蔵書データと照合し、蔵書の現状や紛失資料の有無、配架誤り等を調査することです。
- 流れとしては、全ての蔵書に貼っているICタグを「専用機器(ICアンテナ：近隣図書館から借り受けた計12台を使用)」を用いて読み込み、データ上の所在情報と現物の所在とを照合しました。その後、作業期間中に対応できなかった返却資料の処理、本棚の整理やホコリ取り等の清掃を行いました。
- この蔵書点検以外にも、月に1度「整理休館日(第4木曜日)」を設けています。「データ上は定めた場所に資料があるはずなのに実際はない」といったトラブルを防ぎ、常に整然としていて検索性が高い状態を保つため、請求記号順に並べ直し、本の修理や機器のメンテナンス、清掃作業等を実施しています。



### (2)館内の蔵書整理、模様替えなど

#### ■紙芝居の整理

五十音順で探しづらかった配列を、季節・行事や催し、テーマ毎に仕分け、わかりやすく並び替えました。



#### ■雑誌の整理

ジャンル毎に分類し直し、ラベルを貼り替えるなど、見やすく整理しました。



#### ■「図書館からのお知らせ」掲示板の設置

図書館に関する情報(館内案内図、休館日案内、イベント告知、リーフレット・チラシ等)を集約し、目に留まりやすくするために、正面入口(特別展示架横)の柱に「掲示板(4面)」を設置しました。



〈着手前〉

#### ■検索機及びインターネット検索端末機テーブルの取替

カウンター周りをすっきりと広く見せるため、大型で重苦しいデザインだったテーブルを新調しました。



〈着手前〉



■「布の絵本」貸出点数の変更(1点から2点に増)

「読むばかりでなく、見て、さわって、楽しめるバリアフリー絵本」として人気の「布の絵本(全48点)」の貸出限度数を増やしました。



(3) 図書館トイレ通路の床張替え、壁塗装他工事

■建築当初のままの塩ビ製タイル床は、経年劣化により表層の剥がれが生じ、美観的にも悪かったことから張替えを実施しました。(壁面の塗装もあわせて施工)  
また、水回りについても、大便器の水漏れ修理、洗面台水栓金具の交換等を実施しました。



〈着事前〉

(4) 敷地内植栽の剪定・除草作業

■気持ちよく来館していただけるよう、館内のみならず、庭木についてもスタッフで手入れしました。



(5) 「図書返却ポスト」の改修

■現在、市内の2ヶ所に設置(JR古賀駅前：H24年、サンリブ古賀店内：令和元年)していますが、この内、「JR古賀駅前ポスト」は半屋外の跨線橋に設置していることもあり、発錆や塗装剥がれが見られたことから新調しました。

■造作にあたっては、「図書館の広告塔」としての役割も考え、ひと目を引くデザインと使用容易性を備えた形状とし、市内工務店に発注しました。



〈着事前〉

【報告⑦】《予告》

布の絵本づくり講座 ～知育絵本「はーい、おせんたく」づくり

／布の絵本ボランティア つくしんぼ : 2/2(金)・9(金)・16(金) 《全3回》予定





### 3) 令和6年度 事業方針（案）について

#### \* 読む・学ぶ・調べる図書館活動の推進 \*

事業名称	会計	予算科目	予算額	担当課	備考
図書館運営事業・読書活動促進事業	一般	10款2項4目42事業・43事業	—	文化課	

#### 【市立図書館 運営方針 および 事業概要】

市民の「知る自由」を保障し“生涯学習を支援する情報センター”として、市民の文化的で豊かな暮らしに資する読書文化を育むとともに、資料や情報の提供によって市民の様々な課題解決を支援していきます。



#### 本と気持ちよく出会える場をつくります

##### ①「館内の雰囲気づくり」

- 気持ち良い接遇、親しみやすく居心地の良い環境づくり
- 探しやすい、手に取りやすい配架・ディスプレイの工夫
- 「リニューアル基本計画」に基づく、具体的な整備方針の検討 など

##### ②「図書館資料の充実」

- 「資料収集方針」に基づく、新鮮で調和のとれた蔵書構成の構築
- 市民のニーズや地域の課題に対応した資料の充実
- 学校図書司書と連携し、調べ学習等で活用できる図書館書籍を集めた「学習支援セット」の整備・充実 など

##### ③「調べもの支援」

- 利用者の「？」に寄り添う接遇やレファレンスサービスの向上、役立つブックリストの配布
- (古賀に無い資料を他館から取り寄せる) 相互貸借 など

#### 新しい読書スタイル「電子図書館サービス」を推進します

##### ①「電子図書館サービスの利用促進」

- 「電子図書館体験会」等による利用案内、サービスのPR、新刊書の案内
- 電子書籍コンテンツの充実 など

#### 読書の楽しさやよろこびを伝え、そのきっかけをつくります

##### ①「館内・外での企画展示」

- 特設コーナー・情報ラック事業等による企画展示の充実
- おすすめの本の紹介、産学官民連携イベントの開催 など

##### ②「イベントや講座等の開催」

- 開館30周年記念企画(案)／「図書館のあゆみ写真展」「メッセージ・絵画募集(図書館での思い出や応援メッセージ、夢の図書館(こんな図書館っていいな)等)」
- 図書館Week2024、文学・教養講座、映画会、おはなし会 など

##### ③「情報発信、広報活動の充実」

- 広報紙、HP、SNS、ポスター・チラシ、利用案内、図書館要覧 など

#### 読書をとおして、人や地域・学校などをつなぎます

##### ①「子ども読書活動推進計画(第4次)の推進」

- 家庭・地域、保育所・幼稚園、学校、行政が一体となって、読書と出会うきっかけをつくり、読書を楽しむ取組を充実

##### ②「読書ボランティア団体を支援し、相互交流を促進」

- 読み聞かせ講座・読書ボランティア交流会(スキルアップ支援、情報交換) など

##### ③「学校などとの連携・協力」

- 団体貸出し(市役所、学校、保育所等施設、学童保育所、地域文庫・読書ボランティア等)
- 施設見学、職場体験、インターンシップ受入、雑誌スポンサー制度 など

## 4)その他

### ①「リーパスプラザこがリニューアル基本計画(案)」について

「リーパスプラザこが」は、中央公民館、交流館、図書館・歴史資料館の4つの施設からなる複合文化施設で、古賀市の文化・芸術活動や生涯学習活動の拠点として多くの方にご利用いただいております。

この内、中央公民館と交流館は、社会教育施設のため民間事業者が興行目的で使用することができないほか、中央公民館はまもなく築40年を迎え、老朽化と施設機能の低下が進んでいる状況です。

図書館についても、まもなく築30年を迎え、蔵書数の増加による配架・閲覧スペースの狭隘化など、施設機能の低下が課題となっています。

また、JR古賀駅周辺では、魅力ある都市的なにぎわい空間を創出する市街地再開発の検討が進められているところであり、これに呼応する形で「リーパスプラザこが」についても、更なる魅力向上が求められています。

そこで、「リーパスプラザこが」の更なるサービス向上のため、民間事業者からの多様な意見やアイデアを基に、あらゆる方に文化・芸術を満喫していただけるより魅力ある施設となるよう、今後の整備の方向性を取りまとめた「リーパスプラザこがリニューアル基本計画」の原案を策定しました。

※図書館に関連する記載のみ抜粋して報告 / P11~15参照

#### 第2章 現状と課題

##### 1 前提条件の整理

##### (3) 本施設の現状

■ **図書館** . . . . . 〈計画書〉 P35

#### 第3章 リニューアルのテーマ・基本方針

1 基本理念（リニューアルのコンセプト） . . . 〈計画書〉 P48

2 めざす将来像 . . . . . 〈計画書〉 P48

3 リニューアルの基本方針 . . . . . 〈計画書〉 P49

#### 第4章 施設リニューアル計画

##### 2 施設別のリニューアル計画

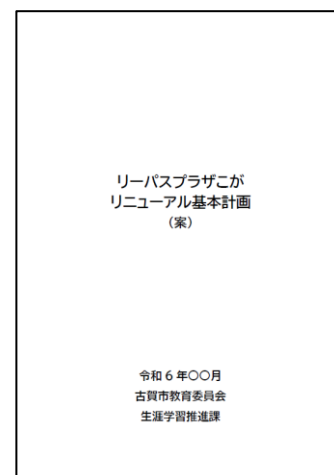
(3) **図書館** . . . . . 〈計画書〉 P60

#### 第5章 運営リニューアル計画

1 運営に関する方針 . . . . . 〈計画書〉 P63

※詳細は、古賀市公式ホームページ /

「リーパスプラザこがリニューアル基本計画(案)に関するパブリック・コメントの実施について」  
をご覧ください。 〈担当課：生涯学習推進課〉



## 第2章 現状と課題

### 1 前提条件の整理

#### (3) 本施設の現状

##### ■ 図書館

##### ■ 図書館

図書館は、運営方針として、市民の「知る自由」を保障し、“生涯学習を支援する情報センター”として、市民の文化的で豊かな暮らしに資する読書文化を育むとともに、資料や情報の提供によって市民の様々な課題解決を支援していくことを掲げています。

蔵書数は約22万冊であり、計115館ある県内図書館の中で、第15位の蔵書数を誇ります。令和元年度(2019年度)の登録者1人当たりの貸出冊数は、16.9冊で、福岡県平均の10.0冊、全国平均の12.5冊を上回る利用となっています。

図書館内ではさまざまな事業が実施され、令和元年度(2019年度)には、以下のとおり、子ども向けのおはなし会や体験講座、大人向けの読書講演会や教養講座、読書ボランティアやサポーター養成講座など、幅広い層に向けた多様なイベントを実施し、読書の普及や図書館の活用促進を図っています。

特に、子どもたちが自ら読書のすばらしさに出会えるような幅広く多様な圖書の収集・提供や読書のきっかけづくりを積極的に行っています。

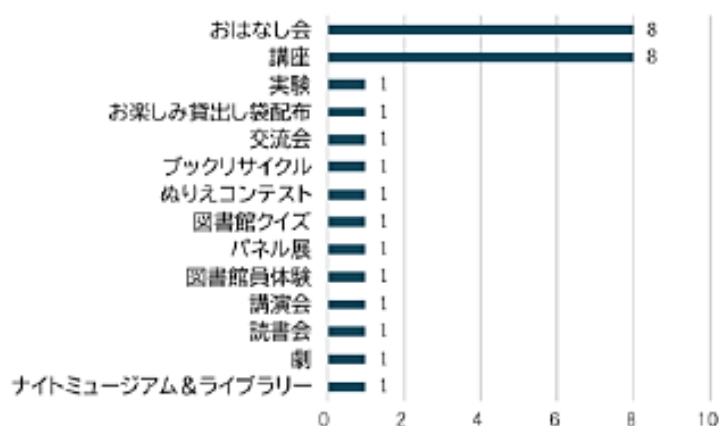


図 令和元年度イベント内容の分類

出典:図書館要覧 令和2年度

表 令和元年度事業内容

事業	内容
子ども向け	定例おはなし会(毎週土曜、第2・3水曜日)、えいごでおはなし会 朗読劇、科学実験、プログラミング教室 親子読書会、ビブリオバトル、読書ノート配布、子ども図書館員体験 ナイトミュージアム&ライブラリー、子ども映画会 お楽しみ貸出し袋、図書館クイズ、ぬりえコンテスト
大人向け	読書講演会 暮らしの講座(野菜づくり)、医療講座、名画会
読書ボランティア、 読書サポーター向け	読書ボランティア養成講座、読書ボランティア団体交流会 中学生読書サポーター養成講座 地域文庫まつり
その他	図書館まつり、おすすめの本等の特別展示、図書館の歩みパネル展 ブックリサイクル

〈計画書〉

出典:図書館要覧 令和2年度



### 第3章 リニューアルのテーマ・基本方針

- 1 基本理念(リニューアルのコンセプト)
- 2 めざす将来像

#### 第3章 リニューアルのテーマ・基本方針

##### 1 基本理念(リニューアルのコンセプト)

文化・芸術活動の拠点としての機能を高め、来訪した人々が質の高い文化・芸術に触れることで、興味関心を高めることをはじめとして、人々が受け手から担い手になる場をめざします。

また、継続的に市内外から人々が来訪するサードプレイスとして機能を高めることで、本市の関係人口の増加に寄与し、市全体へとにぎわいが波及するリニューアルをめざします。そこで、リニューアルの基本理念を以下のとおり設定します。

「人々が集い、文化・芸術をきっかけに、  
新たなにぎわいが生まれ、長く愛されるみんなの居場所づくり」

##### 2 めざす将来像

リニューアルにより本施設がめざす将来像は、以下のとおりです。将来像の達成に向けて、基本方針を設定します。

###### 地域の文化・芸術活動の拠点として

- 市民のみならず、周辺地域からも来訪者があり、文化・芸術の受け手、担い手を形作っています。
- 文化ホール(中央公民館)・交流館で質の高い文化・芸術に刺激を受けた来訪者が、図書館を利用するなど、相互に学びを深める取り組みのできる場があります。

###### すべての人にとってのサードプレイスとして

- 土日・平日を問わず、老若男女様々な来訪者の活動が積極的に行われています。

###### 民間活力を活かしたにぎわいの場として

- 本施設からJR古賀駅東口のシンボル空間軸(仮称)まで、人々の多様なアクティビティによるにぎわいがしみ出しています。
- それぞれの施設が一体となって効果的・効率的な運営が行われています。

###### 今ある施設を長く愛される場として

- 本施設が長年にわたって利用されており、世代を超えた多くの来訪者にとって愛着のある場が生まれています。

〈計画書〉

48

### 3 リニューアルの基本方針

リニューアルにあたっての基本方針を以下のとおり、設定します。

#### 基本方針 1 地域の文化・芸術活動の発信拠点としてふさわしいリニューアル

- 来訪者が質の高い文化に触れ、心を豊かにする鑑賞体験が可能なリニューアルをめざします。
- 来訪者が自ら文化・芸術の担い手として活躍できるリニューアルをめざします。

#### 基本方針 2 すべての人にとってのサードプレイスとなるリニューアル

- 来訪者がいつも来たくなる、また来たくなるようなリニューアルをめざします。
- 居心地が良く、来訪者が愛着を持ちたくなる施設となるリニューアルをめざします。

#### 基本方針 3 民間活力を最大限活用したリニューアル

- 民間活力を導入し、合理的な改修コストを踏まえたリニューアルをめざします。
- 民間活力を導入し、より魅力にあふれる持続可能な施設のリニューアルをめざします。

#### 基本方針 4 施設の長寿命化と環境に配慮したリニューアル

- 省エネ・創エネを取り入れ、ゼロカーボンシティを先導する施設としてのリニューアルをめざします。
- 現施設を活かした改修により、公共施設の長寿命化を図り、健全な財政運営への寄与をめざします。

これらの基本理念、将来像、基本方針に基づき、施設や運営のリニューアル計画およびリニューアルに向けた取り組みを整理します。

〈計画書〉

49

第4章 施設リニューアル計画  
2 施設別のリニューアル計画  
(3) 図書館

(3) 図書館

① 知の拠点としての魅力向上に向けた取り組み

県内でも有数の蔵書数を誇る図書館のより魅力的な知の拠点としての機能を強化するために、以下の方針に基づき、図書館のリニューアルを行います。

・配架レイアウトの見直し

隣接する施設との連携強化を図り、多様な目的を持つ来訪者を受け入れるため、利用者の利用動線や実態に合わせて配架レイアウトを検討します。見直しにあたっては、現在の資料の配置を基本としつつ、今後の長期的な資料の増加への対応、利用者目線での利用しやすい配置を考え、親和性の高い資料を分類するなど、部分的な配置の見直しを実施します。

また、書架は耐震性を高め、資料が見やすい取り出しやすい形状に変更します。

・Wi-Fi・電源の設備拡充

パソコンやタブレット端末、スマートフォン等を利用した利用者の能動的な学習や研究を支援するため、Wi-Fi や電源の設備を検討します。

・館内サインの見直し

書架や本に関する情報に富んだ図書館において、来訪者が知りたい情報や場所をスムーズに伝え、案内するため、視認性が高く直感的に分かりやすい館内サインを設置します。見直しにあたっては、リーバスプラザこが全体の案内サインとの統一感のあるデザインとし、環境の変化を前提とした柔軟に対応できるサインを検討します。

・多様なアクティビティに対応した閲覧スペースのリニューアル

来訪者の長時間の滞在利用や会話・交流など多様なアクティビティに対応可能な閲覧スペースのリニューアルを検討します。また、交流館の学習室と連携し、図書館におけるグループ学習を支える場として、カウンターやテーブル席等の様々なスタイルの学習が可能なスペースの設置を検討します。

リニューアルにあたっては、「動」と「静」「憩い」エリアのゾーニング設定、更には、蔵書数の増加により飽和状態にある配架スペース(開架・閉架共)や、手狭となっている閲覧スペースの拡張など、空間の有効活用を図ります。



図 図書館のリニューアルイメージ

資料：(左図) 都城市立図書館 Nall Mall

(右図) 菊池市立図書館 Kicross

〈計画書〉

60



## 第5章 運営リニューアル計画

### 1 運営に関する方針

#### ① 組織体制リニューアルの取り組み

リニューアルにあたっては、ハード面のみならず、ソフト面でのリニューアルも重要です。そのため、リニューアル後の施設の管理運営については、PFI方式や設計前に指定管理候補者を選定する形式での指定管理者制度等の民間活力を活かした運営体系を積極的に検討します。

また、組織の運営や組織体制の構築にあたっては、リーパスプラザこがを構成する4館それぞれの社会的役割を損なわないように配慮したうえで、安定的なサービス提供ができる持続可能性の高い手法を精査し、選択する必要があります。

さらに、施設間の連携やサービスの均質性等が担保できるよう綿密にコミュニケーションを取り、基本計画の理念達成に向け取り組みを進めていくことが必要です。

#### ② 事業リニューアルの取り組み

リニューアルにあたっては、来訪者が質の高い文化に触れる経験を推進するために自主事業を推進します。自主事業は、市が実施を指定するものから、運営者が創意工夫を発揮して、実施するものまで様々ありますが、基本理念の達成に資する事業であれば、一定の市の予算を確保して実施することも考えられます。

また、貸館事業は、これまでの諸室の貸し出しだけでなく、文化芸術の担い手を育成するためのアドバイスやサポート等の支援をより積極的に行います。

なお、交流館については、現在でも数多くの市民活動団体が利用されていることから、それぞれの事業の実施にあたり、自主事業と貸館事業のバランスに配慮します。